

組織名	一般財団法人飛騨高山大学連携センター
-----	--------------------

1 組織概要

所在地	岐阜県高山市千島町900番地1
TEL	0577-57-5366
FAX	0577-57-5377
URL	https://www.renkei-center.jp/
e-mail	hidatakayama@renkei-center.jp
設立	2017年6月29日
設置都市等	岐阜県高山市
代表者	國島芳明(理事長・高山市長)

2 組織動向

(1) 沿革	
設置経緯	<p>○2015年10月策定の「高山市まち・ひと・しごと総合戦略」で掲げられている「大学連携の推進」を実現するため、その在り方についての検討を開始した。</p> <p>○2017年3月に、市が連携協定を締結している大学等から意見を聴取した。</p> <p>○2017年4月に、大学連携担当監を配置し、6月に一般財団法人として設立した。</p>
見直しの動向	—
役割(2019年時点)	高山市における大学の高度な知見を活用した自治体シンクタンク事業、大学などの様々な活動を誘致・支援する大学コミッション事業を専門的に実施することにより、地方創生を担う人材の育成、若者のUIJターンや地元定着を促進する。

(2) 組織体制	
設置形態(択一)	<input type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
常勤職員数	3人
うち常勤研究員数	2人
非常勤研究員数	1人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	常勤職員及び庶務専従者(非常勤職員)が対応
市民参加、外部連携	調査研究ごとに専門的な知見を持つ大学と連携して実施

(3) 会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2019年度予算	13,935 千円	
2018年度決算	16,870 千円	
2017年度決算	10,948 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	補助金等収入
	2位	事業収入
	3位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	

組織名	一般財団法人飛騨高山大学連携センター
-----	--------------------

3 活動動向

(1) 活動実績	
定期刊行物	なし
(2) 活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	調査研究テーマごとに業務を分担している。
研究員の専門性 育成の手立て	大学の教授等と連携して調査研究を行うことにより、調査研究に関する基礎情報の把握やノウハウなどの習得、政策形成能力の向上を図る。
研究員のキャリアパス等	常勤研究員 A) 子育て支援課→企画課→当センター→スポーツ推進課 B) 協働推進課→企画課→当センター C) 海外戦略課→東京事務所→当センター 非常勤研究員 地元金融機関→当センター→地元金融機関
その他	

5 2019年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
下町まちのデザインに関する調査	下町エリアにおける「回遊性のあるまちづくり」「若者などが集う賑わいのあるまちづくり」を目標として、空き家・空き店舗等を活用した中心市街地の活性化、後世に残すべき歴史的な町並にふさわしい景観としてのまちのデザインについて調査・研究を行う。
高地における健康づくりに関する調査	高地を活かした健康づくりと地域活性化(ヘルスツーリズムの造成、ヘルシーメニューの開発等)を目標として、高地(標高1000~1400メートル程度)が健康に与える影響を科学的に調査・研究を行う。
若者のまちづくりへの参加促進の仕組みづくりに関する調査	平成30年度に高山市が実施したまちづくりアンケートでは、40歳代までの回答者は3割に満たない。若年層の意見が市政に届きにくいことにより若年層が望むまちづくりが進まず、人口減少に拍車がかかる恐れがあるため、若年層によるまちづくりの参加を促進するための仕組みはどうあるべきかを調査・研究する。
荘川地域のまちづくりに関する調査研究	荘川地域が目指す「学校を核としたまちづくり」について、望ましい方向性(モデル)、他地域への展開について調査・研究する。
担い手育成における仕組み作りに関する調査	高山市における若年層は飛騨地域に4年制大学がないことから進学を機会に都心部を中心に転出し、そのまま都心部に就職する学生が多いことなどにより、高山市における人口減少問題は深刻化している。そのため、将来的なUターン促進に繋がるキャリア教育のあり方や、U・I・Jターン促進に繋がるインターンシップの受入れ体制について調査・研究する。